

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

JUN.2016

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



6

No.656

力を合わせて
勝利を掴め

◎添田中学校体育祭

快晴に恵まれた5月22日、添田中学校の体育祭が行われました。赤・青・黄の3つのブロックに分かれ、リレーや長なわとび、応援合戦などで、練習の成果を発揮し、砂まみれになりながらも熱い闘いを繰り広げた生徒たち。保護者も、汗を流しながら声援を送っていました。

雨の多いこれからの季節

大雨に 備えを

岡 役場防災管理課
(☎82-4002)

災害から
地域を守るため

近年、全国各地で集中豪雨が発生し、添田町でも平成24年の集中豪雨では、多くの被害が発生しました。これから雨の多い季節に入ります。今回は、水害に備えて地域の皆さんができる対策を紹介し、水害への備えを考えます。

増える集中豪雨

近年、全国各地で集中豪雨が多く発生しており、大きな被害に見舞われています。添田町でも平成24年の九州北部豪雨や平成3年の台風17号と19号の接近に伴う激しい風雨が、この地域を襲いました。記憶に新しい九州北部豪雨では、大規模な土砂崩れや河川・水路の氾濫により道路が寸断されたり、家屋や田畑へ泥水が流れ込んだりし、町は混乱をきたしました。また、ここ数年はゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な大雨も頻繁に発生し、被害状況だけでなく雨の降り方にも関心が高まっています。

日ごろの備えを確認

特にこれから、梅雨の季節や8月から9月にかけて台風の接近など、大雨や長雨に対する備えが必要になります。「自分の身は自分で守る」という気持ちで、自分自身はもちろん、家族や地域の皆さんと一緒に、もの時に備えましょう。

流れを止めないようにしましょう。また、先月の広報そえだ5月号でお知らせした、避難するときに持ち出す非常持出品と災害復旧までの数日間を自足するための非常備蓄品などの備えを確認しておきましょう。

土砂災害に警戒を

短時間で局地的に大量の雨が降るゲリラ豪雨は、予測が困難で、時間的な余裕がない場合があるため、より迅速な情報収集が必要です。そのため、雨が激しいときは、防災行政無線やテレビ、ラジオ、インターネットなどの気象情報に十分注意し、道路の冠水や河川の氾濫、がけ崩れや土石流といった土砂災害など、大きな被害が予想される場合は、万全の対策をとるようにしましょう。

土砂災害の発生は、雨量と密接な関係があります。地中にしみ込んだ水の量が多いほど、土砂災害の発生回数や規模が増します。特に土石流の発生は、短時間の強い雨が引き金になります。

土砂災害は、梅雨や台風の時期に多く発生しています。長雨や大雨で地面に大量の水がしみ込み、弱くなった地面が崩れるためです。また、今年は地震で地盤が弱くなっていることも考えられ、警戒が必要です。災害が発生した場合、被害を最小限に抑えるため、まずは家族で話し、そして地域全体で防災に対する危機意識や共通意識を持って、災害に強いまちづくりをすることが求められています。もしもの事態が発生した場合、現場でいち早く対応できる地域の備えは万全ですか。

PICKUP

もしものときの備えは万全ですか

●気象情報に注意

梅雨時期や台風が近づいている時などは、気象情報（警報や注意報）に注意しましょう。日ごろから気象の変化に気を配り、気象情報などについて、近所の皆さんとも連絡を取り合いましょう。

●避難場所を確認

地域の避難場所や安全な避難経路、また家族が離れてしまった場合の集合場所や安否確認の方法も決めておきましょう。

●家の周りや危険箇所を確認

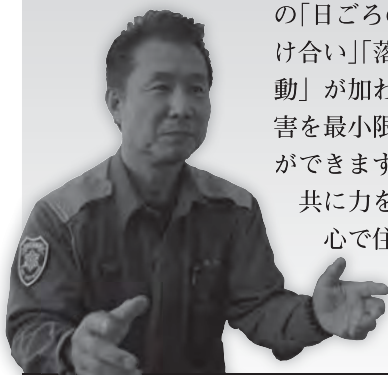
家の周りや近所を見回りして、危険箇所などを把握しましょう。各地域の危険箇所図は、添田町防災マップや添田町ホームページで確認できます。



Interview

地域のつながりが最大の防災力

今年4月に田川消防署添田分署に赴任しました。6月に入り、雨の多い季節になりました。消防署では、町民の皆さんが安心して暮らせるよう、日々訓練に励み、災害に備えています。しかし、どんなに自然災害に備えていても、自然災害は起きてしまいます。自然災害が発生したとき、どれだけ被害を少なくするかが重要となってきます。災害時、私たちを含めた行政の活動には限界がありますが、町民の皆さんの「日ごろの備え」「助け合い」「落ち着いた行動」が加わることで被害を最小限にすることができます。皆さんと共に力を合わせ、安心して住みよい地域を築きましょう。



田川消防署添田分署 藤本 鉄也 分署長

土砂災害の種類と前兆

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちる現象

前兆現象

- 湧水量の増加
- 斜面のはらみだし
- 小石がばらばら落下
- 湧水の濁り
- 地鳴り
- 新たな湧水の発生
- 亀裂の発生
- など



土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し出される現象

前兆現象

- 湧水の異常な濁り
- 土臭いにおい
- 渓流水位の激減
- 渓流内で転石の音
- 地鳴り
- 流木発生
- 流水の急激な濁り
- など

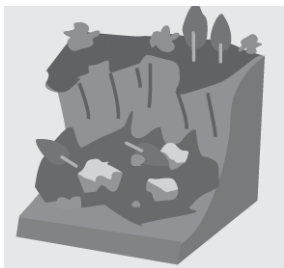


地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象

前兆現象

- 井戸水の濁り
- 落石・小崩落
- 湧水の枯渇
- 根の切れる音
- 樹木の傾き
- 地面の振動
- 地鳴り・山鳴り
- など



平成24年7月の九州北部豪雨では、道路が陥没するなど町内各地で大きな被害が発生しました（写真：一ノ宮地区）



水道施設の 計画的な更新 を進めます

水道使用量が減少するなか、水道施設などの老朽化や災害対策の強化が求められており、水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。

水道課では、水道事業の経営の効率化を図りながら、水道施設や水道管の計画的な更新を進めます。

【老朽化が進む添田町の浄水場の設備】

●着水井

水源から取り入れた水の量を調整する施設



●緩速ろ過池

着水井からの水のゴミや細菌を取り除く施設

●凝集沈殿池

水源から取り入れた水のゴミを取り除くため、凝集剤を入れて、かき混ぜ沈殿させる施設

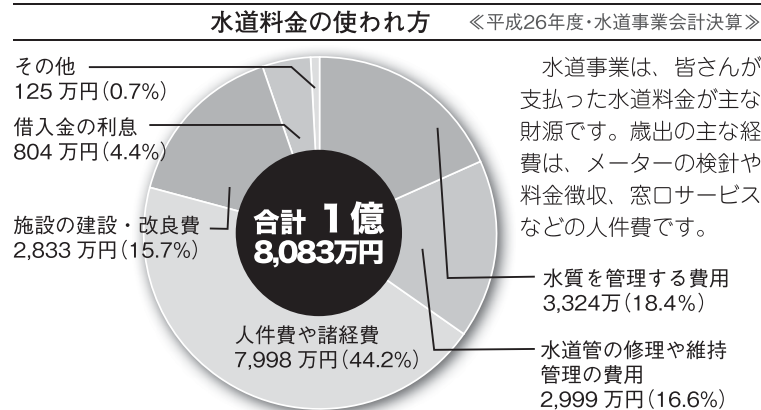


●薬品室

水をきれいにするための薬品貯蔵室

●送水用ポンプ

浄水場からきれいになった水を配水池まで送るための施設



安定して水道水を供給するために

水道事業は皆さんが支払った水道料金を主な財源として、町の一般会計から独立した経営を行っています。平成26年度の水道事業会計の決算額は、歳入2億2,590万、歳出は1億8,083万。歳入のうち、水道料金は1億9,093万、6,500万円が他会計からの補助、その他が5,160万円となっています。

日本の人口は、今後減少すると予想されており、それに合わせ水道水の需要も、今より大幅に減少すると見込まれています。また、

水道事業にかかる経費の大部分が維持管理や施設更新にかかる費用のため、需要が減少しても、運営コストの減少は見込めません。

水道施設の寿命はおよそ40年ですが、町にはそれ以上経過した古い施設や設備が多く存在し、安定して水道水を供給していくためには、老朽化した設備を計画的に更新していく必要があります。老朽化した水道管は破損のリスクが高くなり、水道管が破裂すると断水や道路の陥没など二次災害を引き起こす恐れがあります。

じゃ口からの安心で安全なおいしい水道水が未来まで飲めるよう、協力をお願いします。

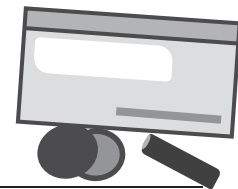
水道課からのお願い 水道料金の納期限納入にご協力を

●滞納解消へ向けて取り組みを強化します

水道課では、水道料金の滞納解消に向けての取り組みを強化しています。悪質な滞納者には、利用者の公平性を確保するため、水道水の給水を停止するなど厳しい滞納処分を行います。どうしても納付が困難な場合は水道課まで相談してください。

●便利な口座振替を利用しませんか

「うっかり払い忘れて納期限を過ぎてしまう」なんてことはありませんか。便利な口座振替にしておけば、引き落とし日の前に、お金を通帳に入れておくだけで払い忘れありません。



**自然豊かな水源が
水道水の源です**

じゃ口をひねると勢いよく出てくる生活に欠かせない水道水は、電気やガスと同じように様々な手間を加えられ、安心して飲める水

としてわたしたちのもとに届けられています。この水の水源は雨です。地表に降った雨はやがて地中にしみ込み、地下水として貯まったり、川や海に流れ込んだりします。それら原水が貯まる場所(水源)を供給源に、安定して水道水

平成28年度水道週間(6月1日～7日)スローガン 「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」

安心・安全な水道水を届けます

水道

水道水は、わたしたちの生活に欠かせない大切なライフラインです。しかし、多くの水道施設では、老朽化が進行しています。災害に強い施設への更新には多額の費用が必要ですが、人口減少などにより、水道料金収入は減少していくことが見込まれます。6月1日～7日は水道週間です。安心で安全な水道水について、一緒に考えてみませんか。

関 役場水道課 (☎ 82-5961)



を作ることができます。

**安心で安全な
水道水ができるまで**

しかし、原水は、不純物を含んでいたたり、濁ったりしているため、そのままでは飲むことはできません。水道の役割は、この水をおい

しく、安心して飲めるようにして、わたしたちのもとへ届けることです。そのために浄水場でいくつもの工程を経ながら、水質基準を満たしたきれいな水にします。そして、配水池を経由して、安全な水道水がわたしたちのもとに届けられます。

忘れず早めの手続きを



6月は「児童手当 現況届」提出月です

児童手当の受給者は、毎年6月に「現況届」を提出しなければなりません。この届出がない場合、6月分以降の手当が受けられなくなりますので、必ず手続きをしてください。



●**支給対象** 中学校卒業まで（15歳の誕生日後の最初の3月31日まで）の児童を養育している人

●**支給額（月額）**

▷3歳未満 一律 15,000 円

▷3歳以上小学校修了前 第1・2子＝10,000 円
第3子以降＝15,000 円

▷中学生 一律 10,000 円

※児童を養育している人の所得が所得制限限度額以上の場合は、特例給付として月額一律 5,000 円の支給となります。

●**支給月** 原則として、6月、10月、2月にそれぞれの前月分までの手当が支給されます。

●**現況届の手続きに必要なもの**

▷印鑑

▷児童の属する世帯全員の健康保険証の写し

※請求者が被用者（サラリーマンなど）の場合

▷児童の属する世帯全員の住民票

※児童が添田町以外に住所を属している場合

▷前住所地の市町村が発行する「平成28年度児童手当用所得証明書」

※平成28年1月1日に添田町に住民登録のない人

▷その他、必要に応じた書類



☎ 役場保健福祉環境課子育て・障がい者・福祉係
(☎ 82-1232)

発達に心配のあるお子さん対象



就学相談を 受け付けています

来 年4月に小学校入学のお子さんで、発達に心配がある、障がいがあるお子さんの就学相談を随時受け付けています。就学相談とは、児童が言葉や身体などの発達状態や能力に応じた適切な教育を受けられるよう、小学校入学前に保護者の皆さんから受ける相談のことです。入学に向けて心配なことを一緒に考えていきます。教育委員会では「豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」の実現に向けてさまざまな課題に取り組んでいきます。



相談から就学までの流れ

まずは相談

●（例）「難聴で授業についていけない心配」「病院で自閉症だと診断されたんですが…」など。まずは気軽に相談してください。

学校見学 就学指導委員会

●お子さんの状態や保護者の意向を伺い、就学先と一緒に考えます。学校の見学もできます。
●学校医などの専門家からなる就学指導委員会から助言を受けることもできます。

就学先の 決定

●就学指導委員会からの助言をもとに、その子に合った就学先などを決めます。
※早め早めの相談をお願いします。

【問い合わせ・相談受付(平日8時30分～17時30分)】
教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

6月下旬から8月上旬の期間



ラジコンヘリによる 農薬散布が始まります

6 月下旬から8月上旬にかけて、町内の各地区で産業用無人ヘリコプターによる農薬散布が行われます。短期間での防除のため、早朝より作業を行いますので、周辺皆様のご理解とご協力をお願いします。



☎ 役場地域産業推進課農業振興係 (☎ 82-1237)

キャッチフレーズが決まりました



6月23日から29日は 男女共同参画週間

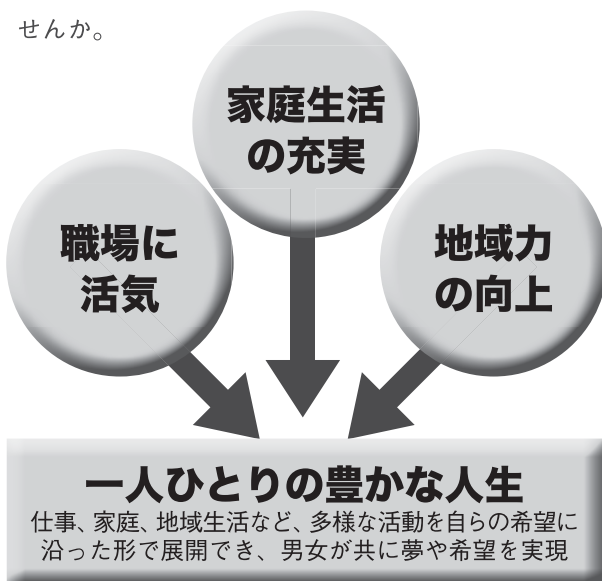
男性も女性も輝ける社会へ

意識をカイカク。
男女でサンカク。
社会をヘンカク。



「男 女共同参画基本法」の公布・施行が平成11年6月23日であることから、その日から1週間で男女共同参画週間です。今年の4月から女性活躍推進法が本施行となり、女性のより積極的な暮らし方・働き方を推進するために、男性中心の意識や労働慣行の変革を促し、多様な可能性を持つ社会を実現するため、“意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。”がキャッチフレーズとして選ばれました。

これを機会に、男性と女性が職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するために、私たちのまわりの男女のパートナーシップについて考えてみませんか。



☎ 教育委員会社会教育課男女共同参画推進係
(☎ 82-5800)

ピックアップ

まちのお知らせ&情報

INFORMATION

今年は初「尾瀬」でのアドベンチャー



少年アドベンチャー in「尾瀬」指導員募集

夏 休みに行う少年アドベンチャーでは、指導員として自然体験や交流学习など、子どもたちと直接触れ合い、指導・交流をしてくれる人を募集します。この夏、かけがえのない時間を一緒に活動する中で、子どもたちの成長を喜びとして感じてみませんか。

●**研修期間** 8月22日(日)～26日(金) 4泊5日

※事前事後研修を4～5回程度行います。

●**募集要件**

過去にアドベンチャー事業に参加したことのある18歳以上（高校卒）で、事前事後研修に参加できる人

●**募集人数** 若干名

●**申込期限** 6月30日(木)まで

※申し込み多数の場合は、書類選考します。

☎ 教育委員会社会教育課生涯教育係 (☎ 82-2559)



文化財庭園の保存と活用を考える



文化財庭園フォーラム 「文化財庭園を生かすために」

日 本の代表的な文化遺産の一つである日本庭園は、所有者の深い理解と絶え間ない努力のもと、連続と受け継がれてきた造園技術に支えられて保存・継承されてきたものです。技術見学会では、実際に庭師が手入れを行う様子を、解説を交えながら見学できます。シンポジウムでは、文化財庭園に関わっている方々に、保存・継承の諸課題について、それぞれの立場から意見や考え方を伺います。

【文化財庭園保存管理技術見学会】

●**とき** 6月25日(日) 13時30分～15時（開場13時）

●**ところ** 名勝旧亀石坊庭園（大字英彦山 1346）

【シンポジウム】

●**とき** 6月26日(日) 9時45分～12時30分（受付9時30分）

●**ところ** オークホール

☎ 役場まちづくり課文化財係 (☎ 82-5964)



収穫を楽しみに夏野菜の植え付け

農業青年会主催・農業体験「てんぐの里」植付祭

添田町の良さや、農業の楽しさを感じてもらうため、歓遊舎ひこさん横の畑で5月8日、添田町農業青年会（尾形吉則会長）主催の体験農園「てんぐの里植付祭」が行われました。町内や北九州市などからの参加者約30人が、ナスやエダマメ、コーンなど、15種類の野菜の種や苗を植え付け、収穫を楽しみに水を撒きました。



↑やさしく土をかけ、野菜の苗を植えていました

杉田久女も愛した英彦山を詠む

第一回「山ほととぎす」杉田久女俳句大会

添田町活性化推進協議会（廣田敏正代表）主催の第一回「山ほととぎす」杉田久女俳句大会が5月22日、英彦山花工房で行われ、2人の選者により入賞した句の表彰が行われました。「水源は比古の大嶺御田植祭」で天賞と地賞を受賞した岩崎要子さん（岡垣町）は「これからも一生懸命句に励んでいきたい」と話していました。



↑ 221人、624句の中から天賞と地賞を受賞した岩崎さん

中元寺川で、年に1度の熱き戦い

上中元寺ヤマメ釣り大会

中元寺川で4月24日、上中元寺青壮年クラブ（猪熊亮太会長）主催のヤマメ釣り大会が行われ、町内や福岡市などから約100人が参加しました。ときおり小雨が降る中での大会となりましたが、多くの人々がぶどう虫やイクラなどをエサに釣りを楽しみ、優勝は42匹、総重量3650グラムを釣り上げた本田誠賢さん（熊本県）でした。



↑大きなヤマメを釣り上げ、笑顔みせる参加者

議員研修で交流の被災地へ義援金

町議会が熊本県御船町議会へ義援金

添田町議会は、議員視察研修などを通して交流のある熊本地震の被災地の御船町議会（井本昭光議長）へ義援金13万円を送りました。5月2日、田中正添田町議会議長と白石英雄添田町議会副議長が御船町議会を訪問し、「被災者支援のために役立ててほしい」と井本議長と田端幸治御船町議会副議長に義援金を手渡しました。



↑御船町議会議長㊤㊦へ義援金を手渡す田中議長

身近な生活に役立つ行政サービスを

県税職員辞令交付

5月10日、皆さんが納めている納付金の公平で適正な負担を図るため、4人の県税職員が、辞令交付を受けました。「人口減少が進む中、自主財源の確保は重要となる。共に頑張りたい」と話した寺西町長。充実した、より住みやすい町にするため、今年度も積極的に滞納解消への取り組みを行っていきます。



↑寺西町長から辞令交付を受ける4人の県税職員

地域で人の立ち直りを支えます

合戸精一さんが保護司に

添田町議会議員の合戸精一さん（上落合一）が法務大臣から保護司を委嘱されました。保護司は、罪を犯した人が処分を受けた後の地域での立ち直りを支える更生保護活動や犯罪・非行を防ぐための活動を行う非常勤の国家公務員です。合戸さんは「地域の中で人の立ち直りを支え、責務を果たしたい」と話していました。



↑添田保護司会長の山下政一さん㊤と合戸さん㊦

↓一人ひとりの善意がつまった募金箱を寺西町長に手渡す添田中学校の生徒会役員の皆さん



わたしたちの善意を被災地へ

添田中学生徒会が義援金を町へ託す

添田中学校生徒会が5月10日、熊本地震支援の募金活動を行い、集まった約10万円の義援金を寺西町長へ手渡しました。同世代も被災している現状を知り、生徒会でできることを話し合い、4月22日から5月7日まで校門や校舎入口で生徒や保護者に協力を呼びかけました。生徒会長の内村咲喜さん（3年生）は「少しでも、被災地の力になれば嬉しい」と語っていました。



↑支援の輪は多くの生徒に広がりました

地域から愛されるチームに

ソフトボール「福太郎めんべい」初試合

今年4月に発足した女子ソフトボールチーム「福太郎めんべい」が5月15日、初試合となる熊本地震支援のチャリティーゲームを行いました。添田町めんべい工場横の旧田川商業高校運動場を改装し、整備された新グラウンドのこけら落としも兼ねて行われた試合には、多くの住民が観戦し、若いチームに声援を送りました。試合後、この春に被災地の熊本学園大学を卒業した福太郎めんべい主将の川橋亜優さんは「初めての試合に多くの応援があつて心強かった。これから地元密着のチームとして、添田町の皆さんから愛されるように頑張っていきたい」と話していました。

↓添田町に誕生した新しいチームに観戦に訪れた皆さんからも盛んな声援が送られていました

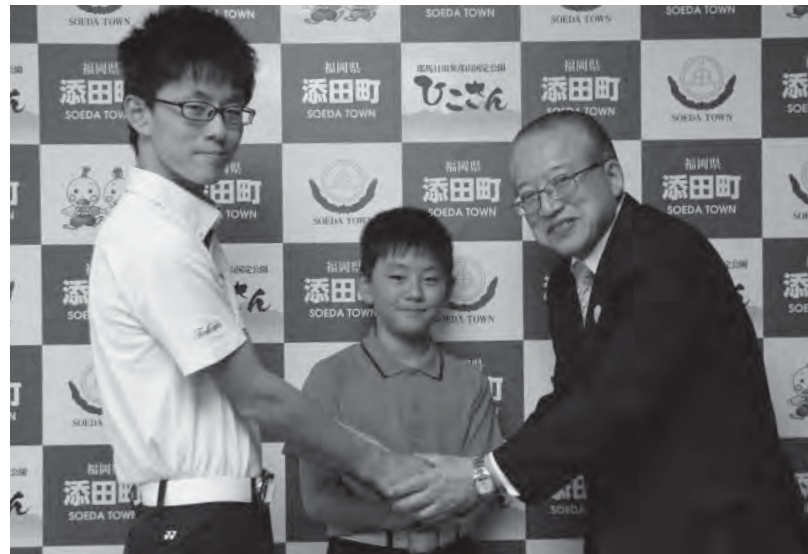


兄弟で目指す全国の晴れ舞台

平原兄弟がゴルフ九州大会出場

7月に大分県で開催されるゴルフの九州大会に兄弟で出場する常磐高校1年生の平原颯太さん（岩瀬）と添田小学校5年生の平原綾太くんが5月6日、寺西町長を訪問し激励を受けました。九州ジュニアゴルフ選手権に出場する兄の颯太さんは、昨年の同大会4位で全国大会に出場。3年連続となる今年は、シード権を獲得して臨みます。弟の綾太くんは、県北部予選を見事2位で通過し、九州小学生ゴルフ大会に初出場を決めました。「九州大会は通過点。全国大会で良い結果を残すことが目標」と語る颯太さん。綾太くんも「全国大会目指して頑張ります」と話していました。

↓毎日、厳しい練習をして、兄弟で挑む九州大会。ふたりとも目標は全国大会の晴れ舞台です





うめの
岩川 梅乃ちゃん
6月19日生 ②・庄東

お誕生日おめでとう★我が家に来てくれて、ありがとう♡みんな、梅ちゃんが大好きだよ♡ママより。



たくま
宗近 逞真ちゃん
6月16日生 ⑨・町三

♡逞真くん3歳のお誕生日おめでとう♡透真と仲良く元気に育ってね。それだけでパパとママは幸せです。



れあ
田中 希明ちゃん
6月16日生 ①・真木団地

れあピ誕生日おめでとう♡れあピは田中家のアイドルです。生まれてきてくれてありがとう♡



えれな
木村 英玲名ちゃん
6月5日生 ④・町二

最近では自分の意志が出てきてなかなか手強くなってきたけど、元気で笑顔の素敵なえれなが大好き。強く優しい子に育ってね。

お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真とメッセージを役場まちづくり課（☎82-5964）に持参、またはEメール（koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp）で送信してください。
7月生まれの締め切りは6月15日☎です。

元氣いっぱい そえだっ子

一音、一音に想いを込めてパレード

添田中学校吹奏楽部が博多どんたくに出場

添田中学校吹奏楽部が5月4日、福岡市で開催された博多どんたく港まつりのマーチングパレードに桂川中学校、稲築中学校、近畿大学附属福岡高校の4校合同で参加しました。吹奏楽部員20人は、強い日差しを浴びながら、沿道を埋め尽くした大勢の観客の前で一音、一音に想いを込めた演奏を披露しながら、博多の町を行進していました。



↑想いを込めた演奏を披露した添中吹奏楽部

秋にはおいしいお米が食べられるね

中元寺小児童が田植え体験

中元寺小学校の全校児童53人が5月17日、学校近くの田んぼで田植えを体験しました。児童たちは、中元寺の自然を愛する会（宮金美樹会長）の皆さんから教わりながら、慣れない手つきで、一列ずつ、丁寧に植え付けていました。秋には稲刈り体験も実施する予定の児童たちは、お米の成長を今から、とても楽しみにしているようでした。



↑泥だらけになりながら、丁寧に植えました

歴まちコラム ～歴史と文化のふる里探訪～

問 まちづくり課文化財係（☎82-5964）

雪舟の築いた雅の空間 名勝・旧亀石坊庭園

室町時代の水墨画家・禅僧の雪舟（1420～1506）が造ったと伝わる旧亀石坊庭園は、昭和3年に国の名勝に指定されています。今回の歴まちコラムでは、旧亀石坊庭園と雪舟の伝承について紹介します。



↑手前の石からほぼ一直線の山裾に石が立て据えられており、雪舟が築いたとされています

煩雑な印象を受けません。

て、雪舟が造ったと言われる伝承についてです。

雪舟は全国各地を旅し、絵を描き、旧亀石坊庭園の他にも北部九州や中国地方には魚楽園庭園（川崎町）や常栄寺庭園（山口市）など、雪舟が造ったと伝わる庭園が数多くあります。

文明8年（1476）から11年（1479）までは九州に滞在しており、旧亀石坊庭園を造ったと考えるならば、この時期になります。この伝承は江戸時代に英彦山を訪れた人の紀行文で確認できます。

地理学者の古川古松軒（1726～1807）の紀行文には「今は植置し楓樹なども大木と

なり、（中略）巖も苔むし」と記録されており、植えられた樹木が大きく成長し、岩が苔むしている様子が書かれています。このような記録から旧亀石坊庭園は江戸時代の初期以前に造られていたことは明らかです。

雪舟が英彦山を訪れたかは定かではありませんが、雪舟の弟子には「彦山実円坊等琳」の名前があり、このことは、雪舟が英彦山に滞在していた可能性を示しており、英彦山における雪舟の動向を考

えるうえで非常にロマンあふれるものです。

【文・西山紘二学芸員（まちづくり課文化財係）】
●「英彦山総合調査報告書」平成28年

文芸歳時記

【俳句 添田福寿句会】

石楠花に豊かな自然和みけり
母の齡越えて余生の藤仰ぐ
故郷の遠い記憶や月おぼろ
鶯の鳴き声日ごとくつきりと

熊谷トシエ
鶴原 幸江
渡辺 恵美
安藤はじめ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

脇役でいいと云いはる茗荷竹
バレットの三原色から春の虹
雛菊の亡夫待ちわびしうすあかり
百までは生きるつもりは苗木植え
老いてなおゆずれぬ主張ねぎ坊主
豆の花風をつかんで立っており
親チャボの威嚇の声や山笑う
来し方も烟る白さや遠桜

諫山 静香
池 三太
安永 藻香
石谷タツ子
牧野八寿子
松尾 揚子
森田 竹子
大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

応接台に庭の木写りて何鳥か
飛んで行ったと坐す吾に告ぐ
水張田に朝の光の射し込めば
メタセコイアは水面にゆるる

大塚 成子
五十嵐田鶴

ささかげに鶯しばし囀りて

さはやかさ残し何処へか去りぬ

岩石に雲のかかりて薄墨の

幻想世界にしばし佇む

友卒寿苦楽乗り越え来たと言ふ

吾は喜寿なり文通続けむ

【川柳 添田番傘川柳会】

国境も領海もなく黄砂来る
あたたかい風に飢えてる一人者
病む母の寝息とどのいお茶をくむ
鯛よりも鯖で長生きするつもり
愛と言う糸のもろさの離婚劇

濱田イサオ
奥田ミヨ子
伊川トシエ
中村ヤス子
諫山 速人

【俳句 投稿】

囀りに峡の十戸の目覚めけり
春光や野草耀ふ遠嶺晴れ
花見舟の点となるまで手を振れり
水温む橋より見ゆる稚魚の影
舞妓みて大阪場所の華やげり

立花 克明
島津余史衣
柴田 一世
天野ユキ海
斎藤智寿子

●俳句・川柳を募集します

7月号に掲載する俳句・川柳を募集します。6月15日☎までに役場まちづくり課に連絡してください。

問 役場まちづくり課広報係（☎82-5964）



教育のひろば

○添田中学校生徒が「携帯電話利用のルール」を宣言

5月7日、添田中学校の土曜授業で、インターネット利用の注意点をテーマに教育講演会を開催しました。講師の安川雅史氏(全国webカウンセリング協議会理事長)が実際に受けた相談内容で、安易なネット利用により高校進学が取り消しになった事例や、犯罪に巻き込まれた事例を紹介。生徒や保護者にネットの危険性やフィルタリング機能の重要性を講演しました。また、スマホの長時間使用は学力低下の原因になるなどの検証結果を紹介し、家ではスマホを使わずもっと親子の会話を大事にするよう生徒に呼びかけました。

講演会を聞いた生徒は、ネットの危険性、スマホの安全な使い方や利用の制限を強く意識するとともに、生徒たちで考えた「携帯電話使用上のルール」を宣言しました。

「携帯電話使用上のルール」 添田中学校生徒会

1. 個人情報 を 拡散しない
2. 写っている人の許可なく、写真や動画などを載せない。悪口を書かない
3. 公共交通機関・公共施設で使用しない
4. 歩きながら携帯電話を扱わない
5. 長時間使用しない



生徒たちが宣言したルールを守っていくためには、本人たちはもちろん、保護者や地域の方

々が一緒になって、このルールを知り、見守る取り組みを行うことが不可欠です。

歩きながら携帯電話を使っている生徒がいたら注意することや家庭でのルール作りを行うなど、生徒たちの健全な成長を町全体で応援できるようご協力をお願いします。

☎ 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

●健康維持と筋力アップを目指しませんか

クアハウス運動教室

●期間 7月5日(四)～9月23日(金)

●腰・肩・膝痛予防教室＝毎週(四)・(金)

①11時～12時、②14時30分～15時30分

●ダイエット・筋力アップ教室＝毎週(四)・(金)

①11時～12時、②14時30分～15時30分

☎ クアハウスパビネス (☎ 82-5061)



▼勤務時間 6時30分～22時の間の8時間(シフト制)
▼休日 月8日程度
▼賃金 時給800円(別途通勤費支給)
▼募集期限 6月30日(四)
☎ 英彦山温泉しゃくなげ荘 (☎ 85-0123)
〔高校生以上〕クアハウス夏季学生アルバイト募集
▼期間 7月16日(土)～8月31日(日)
▼募集人数 1人
▼時給 750円
▼業務内容 プール内の監視、

館内清掃
☎ クアハウス (☎ 82-5061)
イベント
英彦山花公園
あじさい・ラベンダーまつり
▼とき 6月25日(土)～7月10日(日)
▼ところ 英彦山花公園周辺
▼内容 ラベンダー摘み、あじさい摘みなど
▼入園料 小中学生100円、高校生以上200円

※期間中の土日は、地元特産品の販売や、ラベンダースティックづくりなどのイベントあり。
※内容は日によって変わります。詳しくは問い合わせください。
☎ 英彦山花公園 (☎ 85-0375)
英彦山の折りと四季郷原裕幸・定子写真展
▼とき 6月4日(土)～6月26日(日)
▼ところ ギャラ

リーこのはずく
▼入場料 無料
☎ 珈琲館姫沙羅 (☎ 85-0188)
トルペイント作品展 in そえだ
中元寺の公民館教室でトルペイントを続けてきた4人の作品を中心とした作品展です。1回500円で体験もできます。
▼とき 6月10日(金)～6月12日(日)
▼ところ 森実ビル(大正町)
☎ 川津 (☎ 080-1791-0797)

くらしに役立つ情報満載 Information

試験・募集

介護支援専門員実務研修受講試験

▼試験日 10月2日(日)

▼ところ 福岡大学(福岡市)、九州国際大学(北九州市)

▼申込期間 6月13日(日)～7月13日(木)

▼申込書配布場所 役場保健福祉環境課、各保健福祉環境事務所など

☎ 公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 (☎ 092-431-4590)

介護職員初任者研修講習会

▼研修期間 8月22日(月)～9月29日(木)の平日14日間

▼定員 12人(選考あり)

▼受講料 無料(ただしテキスト代など4千円程度自己負担)

▼対象者 ひとり親家庭またはかつて母子家庭だった寡婦

▼託児 事前予約制

▼締め切り 7月28日(木)必着

▼申込書配布場所 添田町役場保健福祉環境課、県保健福祉環境事務所
☎ 福岡県ひとり親家庭等就業・

自立支援センター飯塚ランチ (☎ 0948-21-0390)
家庭介護介助者養成講座受講者募集
寝たきりにならない、させないための日常の知識から、介護に対する正しい考え方や介護の方法、家庭介護を支える行政や民間サービス活用のための知識など、すぐに役立つ知識・技術を学べます。



▼対象者 家庭介護をしている人、高齢者の自立を目指したお世話や家庭での介護方法などについて学びたい人、介護の基本を学び直したい人
▼定員 各コース20人(先着順)
※受講コースや会場、申し込み方法など、詳しくは問い合わせください。
▼参加費 無料
☎ 麻生教育サービス株式会社 (☎ 092-432-6266)
〔急募〕レストランホールスタッフパート募集
英彦山温泉しゃくなげ荘のスタッフを募集しています。
▼業務内容 配膳、食器洗浄、調理補助など

暑さに負けない体づくりを

運動と水分補給で熱中症を予防しよう

熱中症は、5～6月であっても体が暑さに慣れていないことから、急に暑くなった日や梅雨明けの蒸し暑い日などにも起こりやすいため、注意が必要です。

■暑さに備えた体づくりを

「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で、毎日30分程度の運動(ウォーキングなど)を継続しましょう。



暑い環境での運動や作業を始めてから3～4日経つと、汗をかくための自律神経の反応が早くなって、体温上昇を防ぐのが上手になってきます。

■熱中症を防ぐために

▷のどの渴きを感じる前に、こまめに水分や塩分を補給しましょう

▷帽子や日傘、日陰で暑さを避け、通気性の良い服装を心がけましょう

▷室温をこまめに確認し、無理をせずに適度にエアコンを使用しましょう

▷天候の良い日は、日中の外出をできるだけ控えましょう

▷公共施設などを上手に利用しましょう

☎ 役場保健福祉環境課 (☎ 88-8111)



農地法第52条に基づく農地の賃借料情報

☎ 添田町農業委員会 (☎ 82-1237)

平成27年度の農地法第3条の賃貸借権設定許可申請や農地経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画の公告などの資料から収集した情報をもとに、特殊な取引のデータを除き、賃借料水準(平均額、最高額、最低額)を算出したものです。農地の賃貸借契約を締結する場合の目安として、参考にしてください。

農地区分	賃借料 (単位:円)		
	最高額	最低額	平均額
田(水稻)*1	18,500	4,500	10,500
畑(普通作)*2	15,900	10,600	13,100
田(ソバ栽培)*3	9,800	8,200	8,700
田(花き栽培)*4	31,300	31,000	31,100

※1 玄米での支払いの場合、60キロ当たり12,700円で換算
※2 27年度データが少ないため、25年度のデータを含めて採用
※3、※4 データがないため、平成23年度データを採用

人の動き

4月末日現在（ ）は前月比

- 人口 10,489人（－4人） ●出生 6人
- 男性 4,947人（＋1人） ●死亡 15人
- 女性 5,542人（－5人） ●転入 35人
- 世帯数 4,855世帯（－3世帯） ●転出 30人

相談

- 心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
6月7日☎、6月21日☎、7月5日☎、
- 補聴器相談（役場ロビー）
6月8日☎（13時～）、6月10日☎（15時～）
- 無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
6月14日☎
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）
- こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
6月14日☎（10時～）、23日☎（14時～）
☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）
- 女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）
6月1日☎、7月6日☎（13時30分～16時30分）
☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

事件事故発生状況

4月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0（±0）	0（±0）
性犯罪	0（±0）	0（－1）
車上ねらい	0（±0）	0（±0）
空き巣・忍び込みなど	2（＋2）	2（－1）
4月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件＋人身）	13（－2）	48（－6）
死亡者	0（±0）	0（±0）
負傷者	4（＋1）	22（＋5）

休館

- 町立図書館（☎ 82-4800）
蔵書点検のため **6月20日☐～30日☐**
また、6月4日☐から19日☐までは、貸出冊数が1人10冊となりますので、ご利用ください。
- クアハウスハピネス（☎ 82-5061）
館内清掃・機械点検などのため
6月24日☐～26日☐

■編集後記
気温もぐんぐん上がり、5月末には山開きが行われました。登山シーズンの到来ですね。新緑がきれいな英彦山に家族みんなでお越しください。（水上）

◎一人ひとりの一票が、未来を変えます

選挙年齢が18歳以上に

公職選挙法の改正で、6月19日以降に公示・告示されて行われる選挙より、選挙権年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられることとなりました。皆さん、政治や選挙に関心を持ち、大切な一票を投じましょう。
☎ 選挙管理委員会（☎ 82-1231）



- ▼とき 平日☐9時～17時、日曜☐9時～16時
- ▼ひとり親家庭等就業支援相談
【ひとり親家庭等就業支援相談】事前に相談があった人について、平日は添田町役場に出向き、日曜はクロバンプラザ（春日市）で相談を受けます。
- ▼とき 平日☐9時～17時、日曜☐9時～16時
- ▼ひとり親家庭対象相談
【ひとり親家庭等就業支援相談】事前に相談があった人について、平日は添田町役場に出向き、日曜はクロバンプラザ（春日市）で相談を受けます。
- ☎ 福岡県筑豊労働者支援事務所（☎ 0948-22-1149）
- ▼とき 7月20日☐13時～15時
- ▼ところ 福岡県飯塚総合庁舎（飯塚市）
- ▼対象者 ひとり親家庭または離婚協議中の人
- ※要予約、1日4人、1人30分。
- ※詳しくは問い合わせください。
- ☎ 福岡県ひとり親家庭等就業・自立支援センター 飯塚フランチ（☎ 0948-21-0390）
- ▼期間 7月6日☐から平成29年3月までの毎週水曜16時30分～1時間半程度／費用無料
- ▼ところ オークホール
- ▼対象者 町内に住む小学3年生～6年生
- ▼学習支援内容 学校の予習復習など基礎的学習や、日常生活習慣の形成
- ▼募集人数 10人程度／要申込
- ▼申込開始 6月1日☐（定員になり次第締め切り）
- ☎ 福岡県学習支援事業
- ▼期間 7月6日☐から平成29年3月までの毎週水曜16時30分～1時間半程度／費用無料
- ▼ところ オークホール
- ▼対象者 町内に住む小学3年生～6年生
- ▼学習支援内容 学校の予習復習など基礎的学習や、日常生活習慣の形成
- ▼募集人数 10人程度／要申込
- ▼申込開始 6月1日☐（定員になり次第締め切り）
- ☎ 福岡県学習支援事業

お知らせ

- ※進学のための学習主体の教室ではありません。送迎なし。
- ※学習支援ボランティアも同時に募集しています。
- ☎ 福岡県学習支援事業受託団体 特定非営利活動法人ワーカーズコープSKIP（スキップ）福岡 梶山・大倉（☎ 080-8954-2051）
- 地域交流講演会
▼とき 7月9日☐14分～16時／参加無料
- ▼ところ 田川市民会館（田川市）
- ▼演題 「つらいことがあったとき」～心と体と対人関係のコントロール
- ▼講師 福岡県立大学人間社会
- ※進学のための学習主体の教室ではありません。送迎なし。
- ※学習支援ボランティアも同時に募集しています。
- ☎ 福岡県学習支援事業受託団体 特定非営利活動法人ワーカーズコープSKIP（スキップ）福岡 梶山・大倉（☎ 080-8954-2051）
- 地域交流講演会
▼とき 7月9日☐14分～16時／参加無料
- ▼ところ 田川市民会館（田川市）
- ▼演題 「つらいことがあったとき」～心と体と対人関係のコントロール
- ▼講師 福岡県立大学人間社会

- 学部教授 上野行良氏
☎ 「人に優しい町・田川をつくる会」事務局（☎ 42-9307）
- 夏の軽装化・クールビズ今年も実施中です
町では「地球温暖化対策」および「節電対策」として、10月31日まで、庁舎内での職員の服装の軽装化（フーネクタイ・ノー上着など）を実施しています。
- 学部長 上野行良氏
☎ 「人に優しい町・田川をつくる会」事務局（☎ 42-9307）
- 夏の軽装化・クールビズ今年も実施中です
町では「地球温暖化対策」および「節電対策」として、10月31日まで、庁舎内での職員の服装の軽装化（フーネクタイ・ノー上着など）を実施しています。

- ☎ 添田町社会福祉協議会へ
- ▼香典返し ▼重松修（中津野）
- ▼谷口政幸（下中元寺）▼原口清子（添田東）▼立花裕美（添田東）▼奥キセ子（町四☐）▼宮崎和廣（伊原）▼原田真奈美（赤村）▼藤下貴文（飯塚市）
- 特別養護老人ホームそえだへ
- ▼慰問 ▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）▼赤間徳夫（岩瀬）
（平成28年5月14日現在）
- ☎ 役場総務課総務係（☎ 82-1231）
- ありがとうございました（敬称略）
- 添田町社会福祉協議会へ
- ▼香典返し ▼重松修（中津野）
- ▼谷口政幸（下中元寺）▼原口清子（添田東）▼立花裕美（添田東）▼奥キセ子（町四☐）▼宮崎和廣（伊原）▼原田真奈美（赤村）▼藤下貴文（飯塚市）
- 特別養護老人ホームそえだへ
- ▼慰問 ▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）▼赤間徳夫（岩瀬）
（平成28年5月14日現在）
- ☎ 役場総務課総務係（☎ 82-1231）
- ありがとうございました（敬称略）

くらしに役立つ情報満載 Information

相談

日曜街かど労働相談会

賃金未

払い、解

雇、職場

のパワハ

ラといっ

た、働く

上での悩

みや問題

解決をお手伝いします。

▼とき 6月26日☐10時～18時

▼ところ イオン穂波店（飯塚市）

▼内容 個別相談ブースでの相談担当者による面談

※相談無料、予約不要 秘密厳守

※内容によっては弁護士相談も行います（15時～17時）。

☎ 福岡県筑豊労働者支援事務所（☎ 0948-22-1149）

ひとり親家庭対象相談

【ひとり親家庭等就業支援相談】事前に相談があった人について、平日は添田町役場に出向き、日曜はクロバンプラザ（春日市）で相談を受けます。

- ▼対象 町内在住の、ひとり親家庭（児童扶養手当受給者）
- 【養育費の電話相談】
- ▼とき 平日☐9時～16時
- ▼対象者 ひとり親家庭または離婚協議中の人
- 【弁護士による無料法律相談】養育費などの生活上の問題に対して無料法律相談を実施しています。
- ▼とき 7月20日☐13時～15時
- ▼ところ 福岡県飯塚総合庁舎（飯塚市）
- ▼対象者 ひとり親家庭または離婚協議中の人
- ※要予約、1日4人、1人30分。
- ※詳しくは問い合わせください。
- ☎ 福岡県ひとり親家庭等就業・自立支援センター 飯塚フランチ（☎ 0948-21-0390）
- ▼とき 7月23日☐、8月6日☐ 9時30分～16時
- ▼ところ 福岡県教育庁筑豊教育事務所（飯塚市）
- ▼対象者 原則、就学前の幼児（3歳～6歳）の保護者
- ※希望者は小学生の保護者も可。
- ▼相談方法 専門家による個別面接／無料
- ※できるだけ、お子さんと一緒にお越しください。
- ▼申し込み方法 教育委員会にある「心と体の発達教育相談申込書」に必要事項を記入し、6月15日☐までに教育委員会学校教育課に提出
- ☎ 筑豊教育事務所教育相談室（☎ 0948-25-2603）

心と体の発達教育相談

- ▼とき 7月23日☐、8月6日☐ 9時30分～16時
- ▼ところ 福岡県教育庁筑豊教育事務所（飯塚市）
- ▼対象者 原則、就学前の幼児（3歳～6歳）の保護者
- ※希望者は小学生の保護者も可。
- ▼相談方法 専門家による個別面接／無料
- ※できるだけ、お子さんと一緒にお越しください。
- ▼申し込み方法 教育委員会にある「心と体の発達教育相談申込書」に必要事項を記入し、6月15日☐までに教育委員会学校教育課に提出
- ☎ 筑豊教育事務所教育相談室（☎ 0948-25-2603）

情報公開条例および個人情報保護条例の運用状況を公表します

平成27年度の添田町情報公開条例および添田町個人情報保護条例の運用状況について公表します。

●情報公開条例の運用状況

27年度公文書等開示請求		
決定などの内容	開示	7
	一部開示	0
	不開示	0
	不存在	0
	取下げ	0
却下		0
不服申し立て		0

●個人情報保護条例の運用状況

27年度自己情報の開示請求		
決定などの内容	開示	0
	一部開示	0
	不開示	0
	不存在	0
	取下げ	0
却下		0
不服申し立て		0

☎ 役場総務課（☎ 82-1231）



先月号の町の話題の一部に誤りがありましたので、おわびして訂正します
【誤】第4分団の合田正春副分団長 【正】第4分団の合田正春分団長



◇発行/添田町 ◇編集/まちづくり課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-5964 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeida.fukuoka.jp>

◇印刷/九五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています

中元寺神幸祭



津野神幸祭



野田神幸祭



野田神幸祭



添田神幸祭



賑やかな子どもたちの声、響く太鼓や鐘の音

5月の風物詩、各地に初夏の訪れを告げる神幸祭

地域に受け継がれる伝統芸能

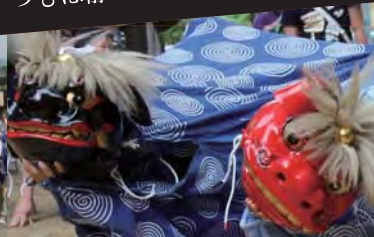
5月上旬、町内各地で初夏の訪れを告げる神幸祭が行われ、山笠や神輿が町内を練り歩きました。また、神楽や獅子舞、子ども相撲など、古くから伝わる伝統芸能が奉納され、いっしょには静かなふる里に、子どもたちの歓声と太鼓や鐘、笛の音が響き渡っていました。

色鮮やかな山笠集結



5月14日、15日の両日、添田神幸祭が行われました。9日には各地区の山笠5基がJR添田駅横広場に集結しました。

荒れ狂う獅子と豊作を願う舞



5月14日、15日の両日に行われた野田地区の神幸祭では、伝統ある獅子舞と楽打ちが披露されました。

真剣勝負の発熱した取り組み



5月15日、下中元寺地区の瀬成神社の神幸祭では、地元の小学生16人が参加して相撲大会が行われました。

15の演目を5時間かけて舞う



5月3日の上津野神幸祭では、高木神社で神楽が奉納され、5時間かけ15演目を荘厳に舞いました。

広報そえだ 町長室

今月は、住環境整備課を紹介します。

▼添田町の住宅施策については、第5次総合計画の基本構想の第2章「美しい自然環境を守り育て、快適な暮らしのあるまちづくり」において「定住・住宅対策の充実」を掲げています。その中で当課では、町営住宅を中心に据えた住宅施策の取り組みを行っています。

▼町営住宅の目的は、健康で文化的な生活を営むために必要な住宅の確保が困難な住宅困窮者のために、安い家賃で賃貸することで安心して暮らせる住宅環境を形成することです。

▼本町では、本年4月現在、公営住宅と改良住宅、ファミリー団地を合わせて903戸の町営住宅を管理しています。しかしながら、これらの住宅には、建設後、相当な年数が経過し老朽化した住宅も多くなっています。そのため、計画的に管理することを目的に「町営住宅長寿命化計画」を策定し、これに基づき建て替えや改善を進めています。その中で朝日ヶ丘団地の建て替え事業を計画しています。この事業は、平成30年度の着工を目指し、本年度は、計画用地の地盤調査および開発行為許可申請に伴う実施設計を行うことになっています。

▼そのほか、総合計画の重点行動プロジェクトである「定住促進プロジェクト」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、関係課と連携して取り組んでいくことにしています。

▼次に各係について説明します。住環境整備課は、契約係と建築管理係で構成されています。各係の主な業務について、契約係は、町が発注する建設工事（土木、建築、水道、電気等）や測量設計等の入札に関して参加する業者の選定に関することから入札を経て契約に至るまでの一連の事務を担当しています。

▼建築管理係は、町において施工する建築工事に関する設計や施工管理等の全般的な業務や町営住宅の維持管理や建て替えに関する業務から、都市計画に関する事務、住宅・土地統計に関する事務、建築確認申請や土地開発行為申請に関する事務を担当しています。そのほか、検査員を配置し、土木・建築・水道事業に係る工事の検査業務も担当しています。今後も快適で、誰もがいつまでも安全に安心して暮らせる町営住宅を目指します。